

「関心持つことの先に復興」

戸田中央総合病院
ローイングクラブ
柿島選手ら募金活動



募金箱を手にチームで支援を呼びかける戸田中央総合病院ローイングクラブの柿島麗選手＝9日午前、戸田公園駅西口

ボート競技の戸田中央総合病院ローイングクラブと、女子ソフトボールの戸田中央メディックス所属の選手らが9日朝、戸田市のJR戸田駅、戸田公園駅前で能登半島地震支援の募金活動を行った。活動に参加した選手らのうち、同クラブ所属の柿島麗（かきしま・うらら）選手(25)は石川県七尾市出身。地震が発生した1日は帰省中で、自身も被災。激しい揺れの影響で実家が傾き、壁面に亀裂が入るなどの被害を受けたという。――面参照

(新井護)

能登半島地震 自らも帰省中に被災

柿島選手は、戸田中央産院医事課に勤務し、昨年9月に中国・杭州で行われたアジア大会に日本代表として出場、「女子エイト」で銀メダルを獲得している。今回の地震について、「高校時代の友人の中には停電、断水し、暖を取ることもさき難いご家庭もある。余震も続き、一日中眠れない日々を過ごしている」と被災地の現状に心を痛める。

活動には両チーム所属の選手ら40人が出勤前の時間を利用して参加。「緊急支援」の文字が入った横断幕とともに募金を呼びかけると、駅の利用者が次々と足を止め、募金に応じていた。

柿島選手は「帰省から戻り、こちらには普段の日常があつて驚いている。被災地は非日常。家族を支えて頑張っている友人もいる。関心を持つことの一步先に能登の復興がある。募金活動を通じて支えてほしい」と呼びかけていた。

戸田中央メディカルケアグループ本部によると、寄せられた募金は日本赤十字社東支部戸田市地区を通じ、全額が被災地に寄付される。また、同グループ内に募金箱を設置し、支援を継続するとしている。